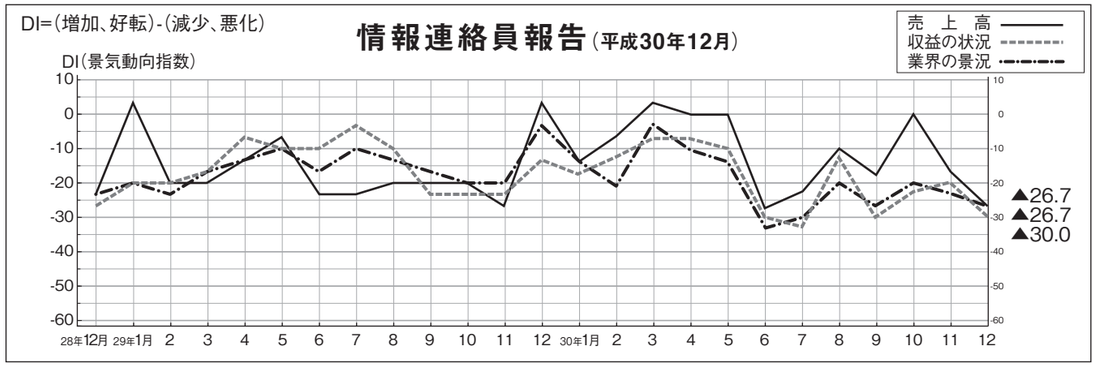
情報連絡員報告を中心とした

県内各業界別の動向　2018年12月（前年同月比）



業界の状況　…好転　…やや好転　…不変　…やや悪化　…悪化

食品団地
県外向け出荷が好調。設備操業度の上昇に対して人員不足となっており、解消のため新たな機械導入を検討するケースが多くなっている。今後、原材料等の上昇に伴い、価格の値上げが多くなりそうである。

生コンクリート製造
出荷量は前年同月比91%。

酒類製造
減少が続く。最需要期である12月の結果は憂慮すべき状況。飲酒スタイル多様化の影響とも考えられる。

コンクリート製品
出荷数量は前年同月比79%。市況は、減少状況が続いている。

テントシート
原油価格の高騰に加え、動燃費の値上がりや人件費、物流コストの上昇等により、テント、帆布等が値上げとなったため、在庫数量が多少増加している。

機械団地
年末の需要増や天候に恵まれ、現場施工等が順調に推移したことなどにより、例年以上に売上を伸ばした企業が一部に見られるものの、全般的には前年並みの業況が継続している。

木製品素材生産
スギ・ヒノキ共搬入量は20%程度減。価格はスギ・ヒノキ共に横ばいであった。

刃物製造
最近の動向にあまり変化はないが、資材、材料費の値上がりが取りざたされはじめ、価格改定の話が出るようになった。

製材
年末も、取扱量等に期待されたほどの動きはなく、現状維持の状態が続いている。

船舶製造
顧客の設備投資意欲に一服感があるが、操業度は高い水準にある。

製紙
過去最高値に匹敵する程に高騰したパルプ価格が、ここに来て反転傾向を示し、約$100/MT=1,000kgの値下げとなった。一安心ではあるが、価格転嫁できていない現状に悪影響を与えない事を期待する。

珊瑚装飾品製造
12月製品会取引高は、前年同月比55%であった。製品会取引高はここ数か月低迷気味である

印刷
県内需要は官公需、一般共に昨年並み。県外需要に関しては一部業種が低調、全体では微減と思われる。

卸団地
暖冬の影響か、来春の選挙の影響かは不明であるが、25日頃までは忘年会の活気があまりなく、月末になっても、比較的落ち着いている印象を抱いた年末商戦であった。

青果卸売
野菜、果実とも、入荷量が昨対比95%程度であったにも関わらず単価安となった。とりわけ販売金額については、昨年が対前年比120%強であった反動もあり、昨対比80%前後と、超低水準となった。

商店街（四万十市）
昨年ほどではないが、人通りや飲食店の人の入りは多かったように思われる。特に下旬は帰省客の効果もあってか、賑やかだったように思われる。

生鮮魚介卸売
カツオの入荷は順調であったが、強風のため小物は入荷が少なかった。マグロの入荷は例年の半分程度であったため、買い高にも影響している。

旅館・ホテル
例年冬季は宿泊稼働が下がるが、昨年はブロック大会、宿泊付忘年会、オリンピックに向けた学生のスポーツ強化合宿もあり、宿泊人数が増加した。「チームラボ　高知城光の祭」に行く観光客でも賑わった。

各種小売（土佐市）
ポイントカード抽選会は昨年の2倍以上のお客様で賑わったが、各小売店では、年末の忙しさも昔のようなことはなくなったとのことで、特に売上げが増加することはないようである。

飲食店
繁忙期の本月だが、月初の集客が悪く、売り上げが前年割れした店舗が多かった。高知県全域でその傾向がみられ、業界の景況が悪化した。

ガソリンスタンド
米国の株安など世界の経済成長が減退し、12月下旬、中東産ドバイ原油は大幅に下落した。よって全国平均のレギュラーガソリンの原油は140円台となり、高知県も同様に値下がりし150円台となった。

旅行業
組合クーポン売上前年同月対比48%、全旅クーポンを加味して77%。前月まで好調な売上だった為、反動も生じている模様。

電気機械器具小売
12月は全商品平均で93%（販売金額比）。暖冬の影響もあり、特に暖房関連商品が悪かった。

一般土木建築工事
平成30年12月分の公共用土木生コン出荷量は、前月比86.2%、前年同月比102.3%。平成30/4～30/12累計においては前年同月累計対比87.5%の水準。12月の公共工事請負金額は前年同月比で205.2%、前年対比累計金額では98.9%。

中古自動車小売
前年度と比較して、組合員ごとに善し悪しの差はあるものの、全体的には大きな変化は見られない。

電気工事
高知中央、香長地区の組合員が施工する電力引込線関連工事量の伸びに支えられ、前年同月比117%となった。

商店街（安芸市）
年末恒例の歳末大売出しや、空き店舗を活用したコミュニティの場にて、ギターコンサートを実施した。

一般貨物自動車運送
組合実績は前年度同等であった。11月に続き燃料価格は値下げとなったが、繁忙期に人手不足は深刻で、1月以降年度末に向けて不安材料となっている。

商店街（高知市）
中央公園地下駐車場利用状況　売上:前年比105.7%　台数:前年比102.8%。41年間営業してきたCDショップが閉店。音楽ソフトの生産金額は98年をピークとして、3分の1に減ったと聞き、時代の流れを感じる。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:98.3%、輸送回数:101.4%。当月の実働率（車両稼働率）は68.0%。運転者不足のため、車輌稼働率が悪く、営業収入が減少気味である。